

[4] タジキスタン

主要経済指標等 (2012年)

●人口	801万人
●GN I 総額	75.81億ドル
●GN I 一人あたり	880ドル
●経済成長率	7.5%
●失業率	11.5%
●対外債務残高	36.48億ドル
●援助受取総額 (支出純額)	3.94億ドル
●DAC分類	低所得国
●世界銀行分類	i/低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対タジキスタン援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	—	24.98	4.12(4.03)
2010 年度	—	20.51	4.00(3.91)
2011 年度	—	41.83	3.67(3.39)
2012 年度	—	22.58	5.01(4.72)
2013 年度	—	14.87	7.03
累 計	—	235.41	57.54(55.91)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標 1: 1 日 1.25 ドル未満で生活する人々の割合	49.4%(1999)	6.6%(2009)
●目標 2: 初等教育における純就学率	96.1%(2000)	97.6%(2011)
●目標 3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を 1 とした時の女子の人数)	0.98人(1991)	0.96人(2011)
●目標 4: 5 歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	104.7人(1990)	58.3人(2012)
●目標 5: 妊産婦の死亡数 (出生児 10万人あたり)	94人(1990)	65人(2010)
●目標 6: 15~49 歳の HIV 感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	0.03人(2001)	0.04人(2011)
●目標 7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	60.9%(1993)	65.9%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

タジキスタンに対する我が国ODA概要

1. 概要

タジキスタンに対する我が国の経済協力は、1991 年度の研修員受入れおよび専門家派遣に始まり、以後、無償資金協力や国際機関等を通じた支援も実施している。2005 年には、技術協力協定を締結し、同国に対する技術協力を開始した。

2. 意義

タジキスタンはアジア、欧州、ロシアおよび中東を結ぶ地政学的に重要な地域に位置しており、同国の安定は中央アジアおよびユーラシア地域の安定にとって重要であり、また隣国アフガニスタンの自立と安定に向けて国際社会が取り組んでいく上でも不可欠である。一方、同国国民の所得は CIS 諸国中最も低い水準にあり、経済インフラおよび社会サービスの整備、並びに、貧困削減が大きな課題となっている。同国に対し ODA を通じた支援を行っていくことは、二国間関係の発展や「人間の安全保障」の観点だけに留まらず、隣国アフガニスタンを含む地域全体の安定に寄与するという観点からも意義がある。

3. 基本方針

タジキスタンの持続的な経済・社会発展が可能な国づくり支援を基本方針とする。

4. 重点分野

- (1) 地方開発: 安全で衛生的な飲料水へのアクセスを可能とする給水施設や、母子保健を中心とした医療・保健体制の整備を支援する。さらに地方における雇用創出と生計安定のために、農業開発・産業振興に寄与する支援を実施する。
- (2) 経済インフラ整備: 国内における都市・地方間の交通利便性の改善、中央アジア諸国およびアフガニスタンとの連結性の強化、物流改善による地域経済の活性化・安定化への貢献のため、老朽化した道路改修とその維持管理体制の整備を中心とした輸送インフラの整備を行う。また、不安定な電力供給の改善を目的とした電力分野の支援を実施する。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009 年~2012 年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013 年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA 実績のみを示している。

() 内は JICA が実施している技術協力の実績および累計となっている。

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-2 の詳細)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	な し	41.83 億円 ・クルガンチュベードゥスティ間道路改修計画 (国債 4/4) (10.07) ・第二次ハトロン州ハマドニ地区給水改善計画 (7.79) ・第二次クルガンチュベードゥスティ間道路改修計画 (18.89) ・日本NGO連携無償(1 件) (0.50) ・貧困農民支援(1 件) (1.90) ・人材育成奨学計画(3 件) (1.10) ・草の根・人間の安全保障無償(15 件) (1.58)	・アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャーン地域における農村開発プロジェクト [12.02~15.02] ・ハトロン州母子保健システム改善プロジェクト [12.03~16.03]
2012 年度	な し	22.58 億円 ・ハトロン州及び共和国直轄地域道路維持管理機材整備計画 (13.44) ・母子保健施設医療機材・給排水設備改善計画 (6.02) ・日本NGO連携無償(1 件) (0.50) ・人材育成奨学計画(3 件) (0.83) ・草の根文化無償(1 件) (0.07) ・草の根・人間の安全保障無償(19 件) (1.72)	
2013 年度	な し	14.87 億円 ・ハトロン州ピアンジ県給水改善計画 (詳細設計) (0.42) ・タジキスタン-アフガニスタン国境地域生活改善計画 (11.29) ・日本NGO連携無償(1 件) (0.27) ・人材育成奨学計画(3 件) (1.02) ・草の根・人間の安全保障無償(19 件) (1.87)	・道路維持管理改善プロジェクト [13.10~16.06]
2013 年度 までの累計	な し	235.41 億円	57.54 億円(55.91 億円) 研修員受入 1,957 人 専門家派遣 108 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

タジキスタン

表－3 我が国の対タジキスタン援助形態別実績（OECD/DAC 報告基準）

（支出純額ベース、単位：百万ドル）

暦 年	有償資金協力	無償資金協力	技 術 協 力	合 計
2009 年	－	22.45 (8.03)	3.79	26.24
2010 年	－	39.03 (1.71)	4.39	43.42
2011 年	－	31.00 (9.01)	4.59	35.59
2012 年	－	27.71 (1.00)	5.27	32.98
2013 年	－	19.01	7.65	26.66
累 計	－	191.12 (19.75)	57.72	248.86

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。（ ）内は、国際機関を通じた贈与の実績（内数）。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額（有償資金協力については、タジキスタン側の返済金額を差し引いた金額）。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表－4 諸外国の対タジキスタン経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	うち日本	合 計
2008 年	米国 60.90	ドイツ 22.17	スウェーデン 12.54	スイス 11.96	日本 8.06	8.06	144.53
2009 年	米国 41.53	日本 26.24	ドイツ 26.12	スイス 12.86	スウェーデン 9.13	26.24	142.41
2010 年	米国 46.87	日本 43.42	ドイツ 34.67	スイス 13.80	英国 12.52	43.42	165.60
2011 年	ドイツ 39.69	日本 35.59	米国 35.08	英国 16.50	スイス 14.53	35.59	153.85
2012 年	ドイツ 43.21	米国 36.71	日本 32.98	スイス 23.10	英国 13.67	32.98	163.93

出典) OECD/DAC

表－5 国際機関の対タジキスタン経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	そ の 他	合 計
2008 年	ADB Sp. Fund 54.34	EU Institutions 31.14	IDA 31.02	IFAD 12.30	GFATM 9.61	33.58	171.99
2009 年	ADB Sp. Fund 111.98	IDA 50.12	IMF-CTF 40.25	EU Institutions 37.32	Isl.Dev Bank 18.23	26.63	284.53
2010 年	IDA 65.72	IMF-CTF 59.75	ADB Sp. Fund 50.02	EU Institutions 36.64	GFATM 22.63	45.85	280.61
2011 年	ADB Sp. Fund 74.75	IDA 32.29	IMF-CTF 20.60	Isl.Dev Bank 19.16	EU Institutions 18.98	37.58	203.36
2012 年	ADB Sp. Fund 60.20	IMF-CTF 39.96	EU Institutions 36.44	Isl.Dev Bank 30.89	GFATM 19.68	41.54	228.71

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表－6 2013 年度実施協力準備調査案件

案 件 名	協 力 期 間
ハトロン州ピアンジ県給水改善計画準備調査	13. 3～13.12
甘草生産事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	13. 3～16. 3

出典) JICA

表-7 2013 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案	件	名
ホログ市灌漑用水路整備計画		
クムサングル行政郡女性センター建設計画		
ジルガトル行政郡ラフシュ地区地域病院外科病棟整備計画		
タジキスタン7村における給水システム整備及び公衆衛生改善計画		
パンジ川河岸自然災害リスク低減計画		
ホヴァリング行政郡サリオシヨブ地区灌漑用水路改修計画		
バルジュヴォン行政郡中央病院第2病棟建設計画		
イスタラフシャン市ボシュケント地区セプラ村温室栽培施設建設計画		
ヴァフシュ行政郡ルダギ地区サディシェロジ村第29中等学校校舎建設計画		
ヴォセ行政郡ルダギ地区メフナトバード村第3地域病院再建計画		
タジキスタン消化器病院肝臓・膵臓外科医療機材整備計画		
ダルヴォズ行政郡中央病院医療機材整備及び小児科棟改修計画		
シュロアバード行政郡ダシュティジュム村災害リスク低減計画		
タジキスタン機械式地雷除去活動支援計画		
テムルマリク行政郡クシュキヤ地区グルルディ村第21中等学校新校舎建設計画		
ファイザバード行政郡ミスキノバード地区ファトホバード村第12学校校舎建設計画		
ボフタル行政郡ザルガル地区キロフ村第25学校校舎改修計画		
マスチョ行政郡オブルドン地区地域病院感染症科病棟改修計画		
ルダギ行政郡グリストン地区ボロシャル村第166中等学校校舎増築計画		

中央アジア・コーカサス地域

